

インドネシアで広がる 木材の合法性・持続可 能性証明の試み



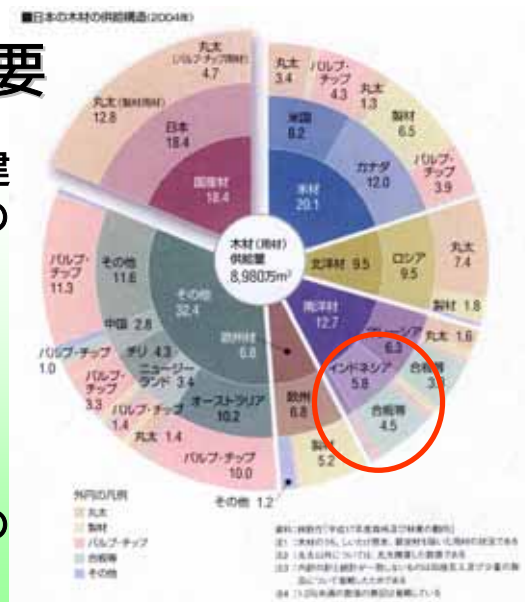
国際環境NGO FoE Japan／
フェアウッド・キャンペーン
三柴 淳一

発表内容について

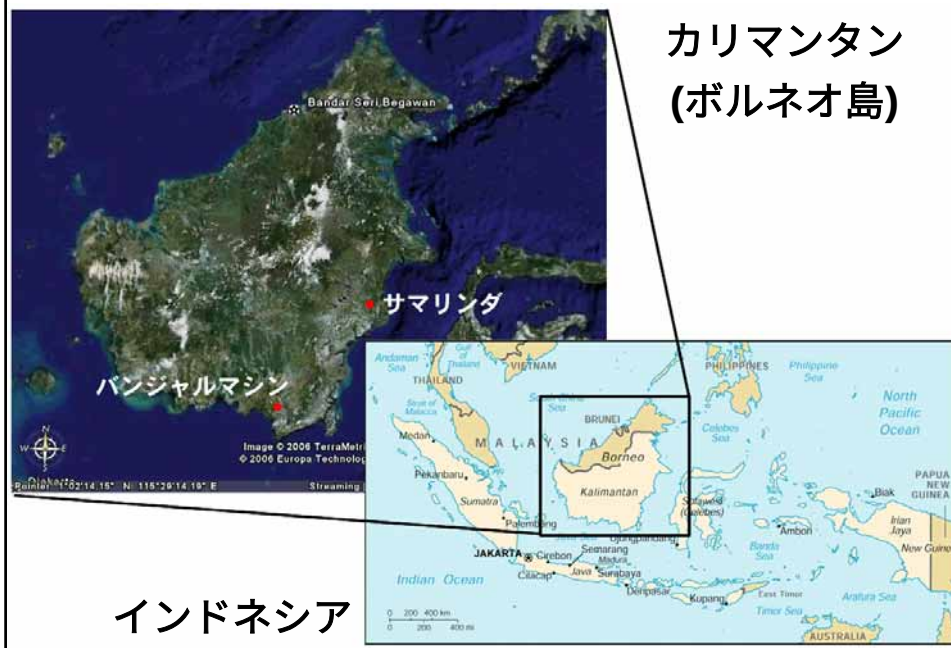
- 合法性、持続可能性の取組み
- 具体的なチェックポイント
- まとめ ～NGOからのひとこと

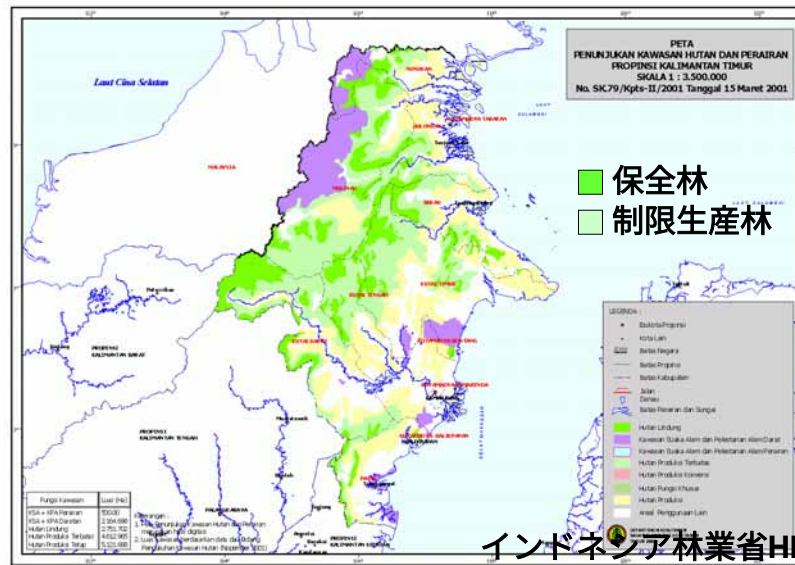
日本の木材需要

- 紙が4割、残りは建築・土木・家具用の木材
- インドネシアは約6%、その8割を合板が占める(残りは紙、製材)
- マレーシアシアの急伸

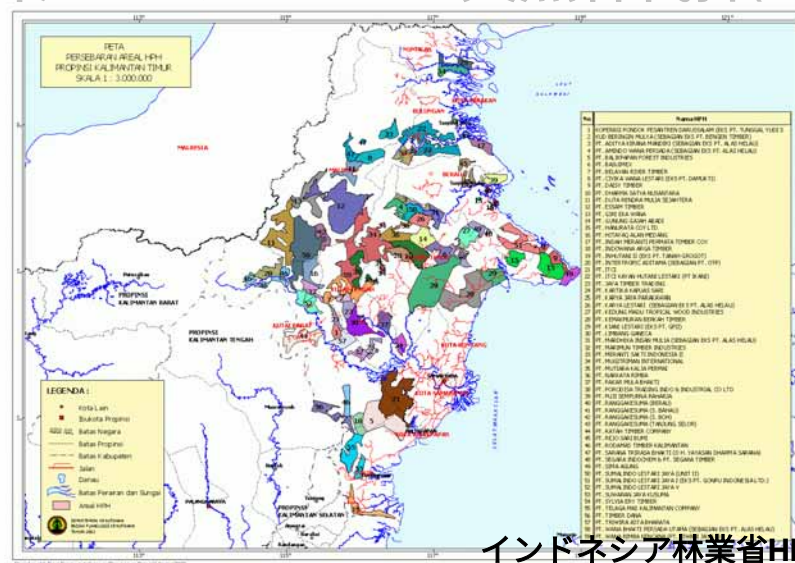


カリマンタン (ボルネオ島)





インドネシア林業省HPから



インドネシア林業省HPから

インドネシアの森林の状況

- 木材供給量と加工業の生産能力との大きなギャップ
- 違法伐採、農地転換、鉱物採掘、森林火災など



国際社会の取組み - FLEG

- 1998年G8バーミンガムサミット、森林行動プログラム
- 2001年東アジアFLEG(バリ)
- 2005年G8グレン・イーグルスサミット、日本政府はG8首脳会合で「日本政府の気候変動イニシアティブ」を公表
- 2006年改正G法施行
 - (1) 森林認証制度及びCoC認証制度を活用した証明方法
 - (2) 森林・林業・木材産業関係団体の認定を得て事業者が行う証明方法
 - (3) 個別企業等の独自の取組 (※トレーサビリティ構築など) による証明方法(「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」より)

合法性、持続可能性の取組み

合法性(Legality)の取組み

- 天然林木材林産物利用事業許可(通称HPH), 人工林木材林産物利用事業許可(通称HTI), 木材林産物採取許可(IPHHK)の更新時審査(2003年12月から)
- インドネシア合法性基準策定の取組み(英-インドネシア合同チーム、EUの違法伐採対策行動計画の一環)
- 林業省による既存のトラッキングシステムの融合、および導入、普及(TNC, TFTと協同)
- 二次元バーコードトラッキングシステムの開発(日本-林業省)

持続可能性(Sustainability)の取組み

- FSC, LEIの取組み(森林認証機関)

FSC : 739,368ha (植林を含む, 2006年9月現在)

LEI : 1,045,282ha (植林を含む, 2006年9月現在)

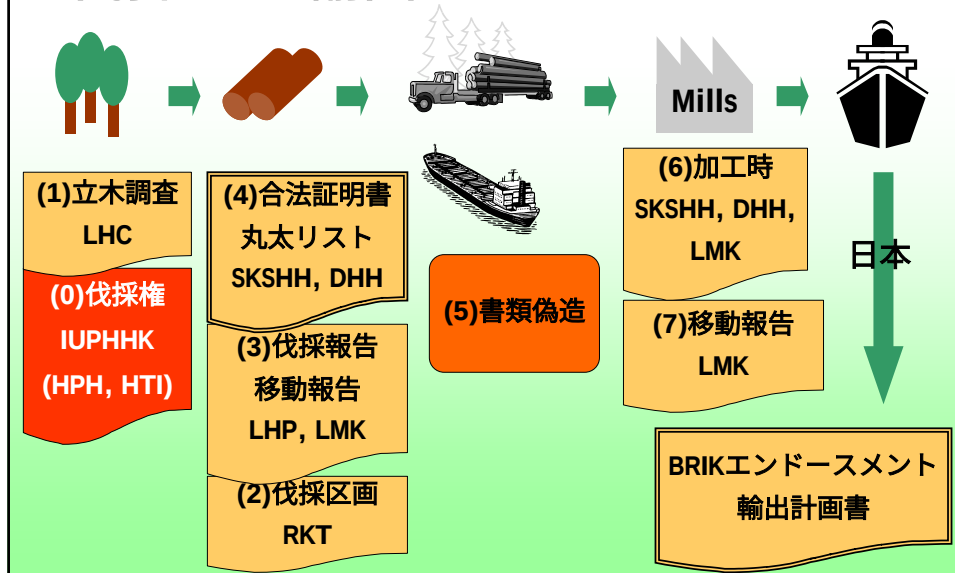
- GFTN, TFTの取組み(FSC認証取得支援)



法に基づく 具体的な手続きの流れ

林産物取扱規則
(林業大臣令2003年126号)

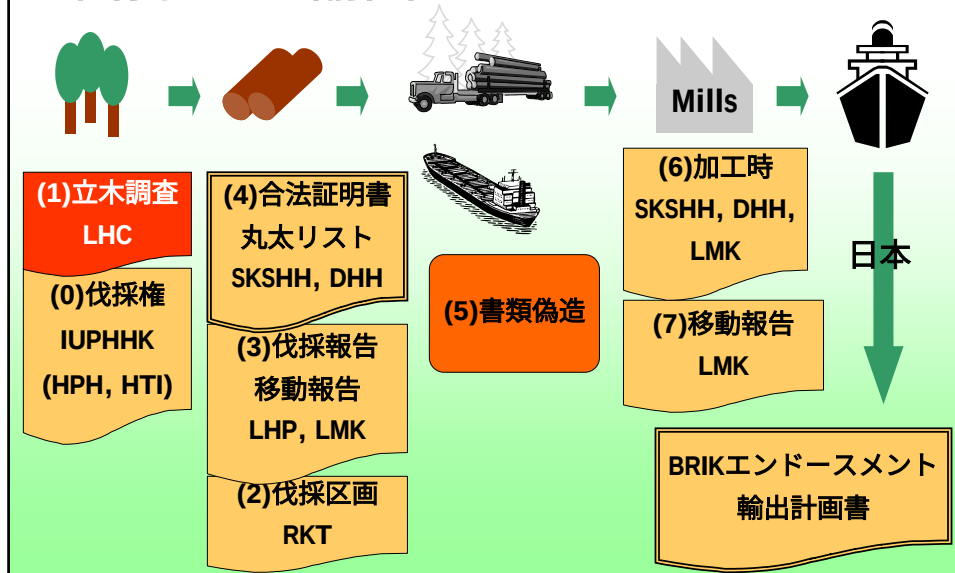
伐採から輸出まで



チェックポイント(0) - 伐採権

- HPH, HTI, その他、正式な伐採権を有しているか？
- 伐採権料を支払っているか？
- 伐採権の期限は切れていないか？

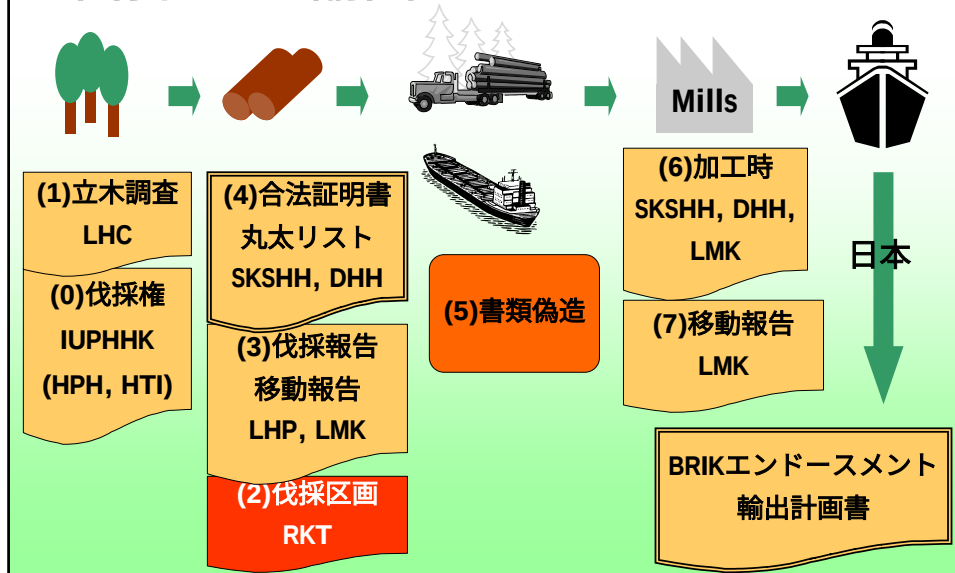
伐採から輸出まで



チェックポイント(1) - LHC

- LHC(立木調査)の精度。隣接する保全林などの樹木が含まれていないか？
- 現場サイドと本社レベルとでLHCの狂いはないか？

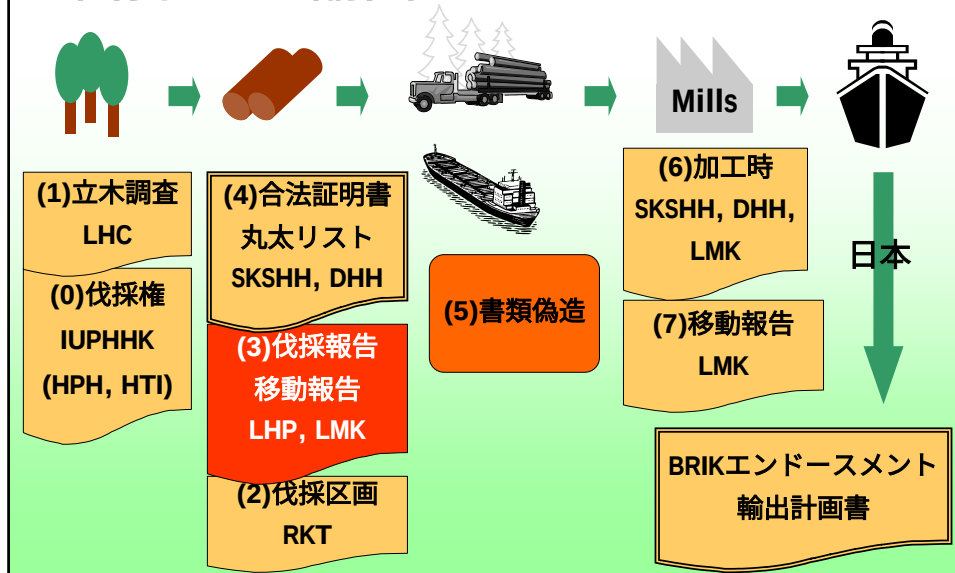
伐採から輸出まで



チェックポイント(2) - RKT

- 年次伐採計画(RKT)の区画外伐採を行っているか？
- TPTI(インドネシア択伐植林システム)に沿った伐採を行っているか？

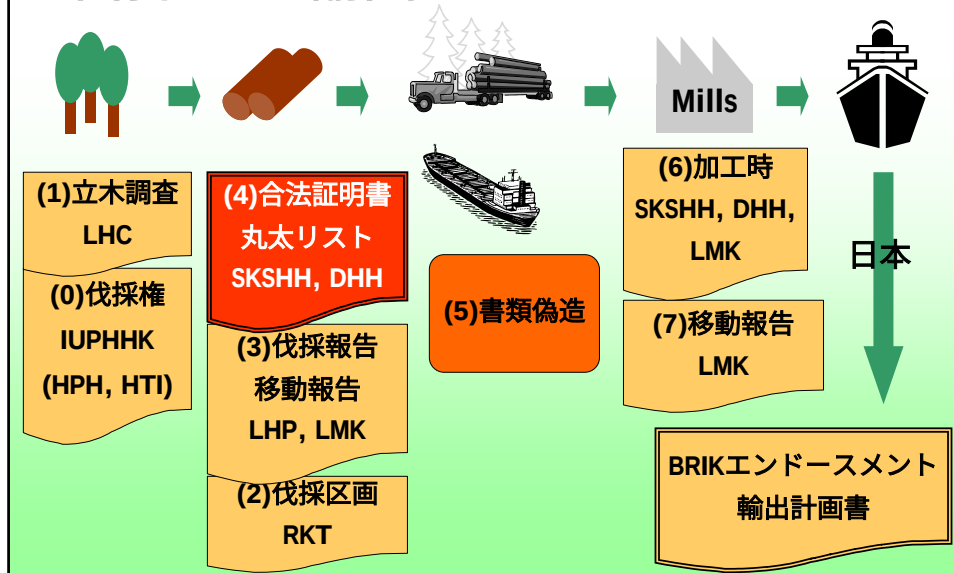
伐採から輸出まで



チェックポイント(3) - LHP, LMK

- 伐採報告書(LHP)の精度。計測、記録、丸太移動報告(LMK, 在庫管理)をきちんと行っているか？

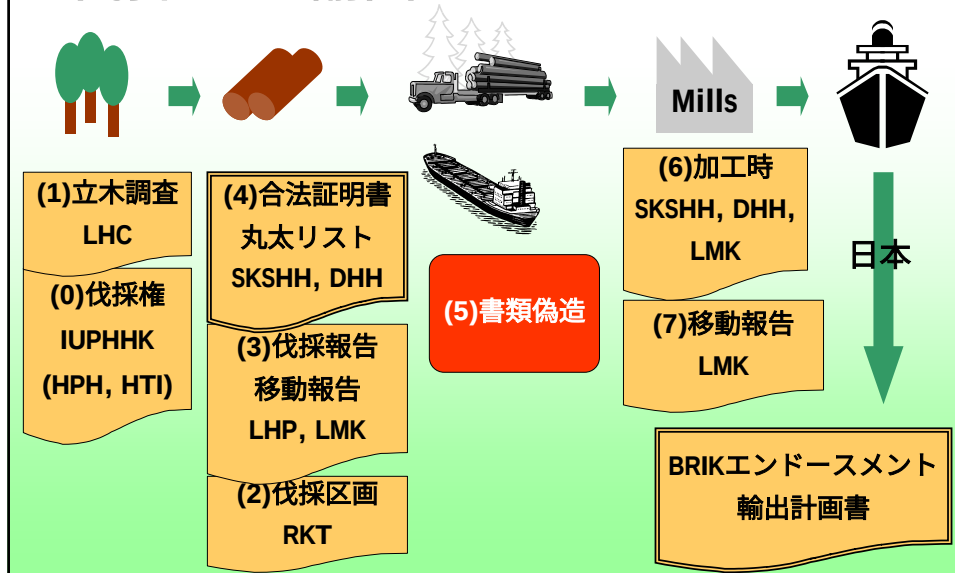
伐採から輸出まで



チェックポイント(4) - SKSHH, DHH

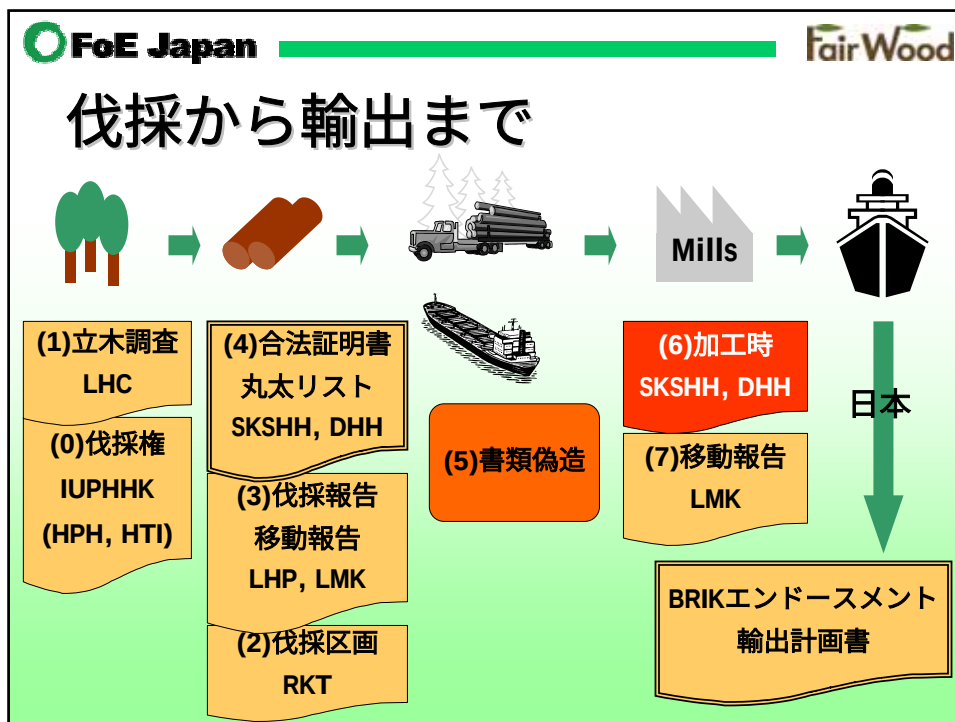
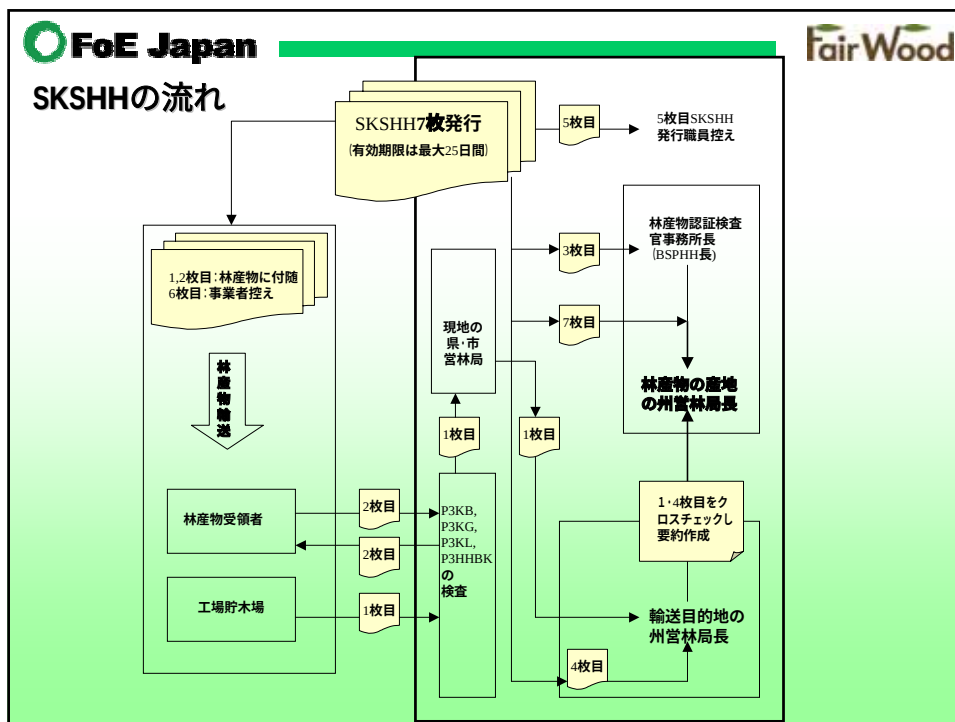
- 貯木場から丸太出荷時に作成する丸太一覧表(DHH)の精度。
- LHP, LMKとの整合性は取れるか？
- SKSHHへの正確な記入。
- 合法性証明職員(P2SKSHH)への賄賂の有無。

伐採から輸出まで



チェックポイント(5) - 書類偽造

- 書類1枚につき、船2隻といったことはないか？
- 書類の偽造は行われていないか？
- SKSHH7枚の運用は正しく行われているか？



チェックポイント(6) - 加工時

- SKSHH, DHHの管理、および移動報告(LMK)の精度。
- リストにない丸太を加工していないか？
- 他社からの購入丸太についても出所管理をしているか？

チェックポイント - その他

- 以下などに配慮しているか？
 - 伐採地周辺の住民との関係
 - 労働者の権利・環境
 - 物理的・社会的環境インパクト

結論

- 合法木材製品は輸入可能
- 注意が必要。制度は一つ前のプロセスに基づくもので、一つ崩れると全てに影響する
- 独自調査、または既存の段階的改善システムの利用を推奨

天然林丸太禁止？(中)
(日刊木材新聞2006/5/17)

インドネシア合板価格急騰(右)
(日刊木材新聞2006/4/19)

南洋材輸入量減少(左)
(日刊木材新聞2006/8/10)

合板企業のヒアリングから

- 丸太調達は極めて困難→材枯渇。
- 警察チェックが厳しくなった。
→FLEG効果？
- 操業率も50%に満たない→ダウンサイジング化(ただし対案提示の必要性)



経営難＝認証材ビジネスチャンス

まとめ - 日本企業として違法伐採問題に取り組む理由

～理念として

- 国際社会の合意に基づくその一員としての責務であること
- G法施行により、一層コンプライアンス要件の一つとして重要
- CSR活動の一つであること
- 取り組みは、将来への先行投資でもある

まとめ - 合法性は重要、でも？

- 合法性はミニмум要件ではない
- 段階的に持続可能性を担保していく
→ 第三者機関による認証取得
- 認証取得をゴールとせず資源の保全、
持続的利用、そして持続的ビジネスの
実現こそが真の目的
- 地元へのフェアな利益還元

ご清聴、ありがとうございました。

www.fairwood.jp
www.foejapan.org
mishiba@foejapan.org

①切株に貼付

PT	:	社名
RKT TAHUN	:	RKT年
No. Petak	:	区画番号
No. Pohon	:	樹木番号
Jenis	:	樹種

PT.	:	社名
RKT Th.	:	RKT年
No. Ptk.	:	区画番号
No. Phn.	:	樹木番号
Jenis	:	樹種
Ø Awal	:	直径

②丸太に貼付

No. Pohon	:	
Jenis	:	

③伐採者所持

No. Petak	:	
No. Pohon	:	
Jenis	:	

伐採木用

保護木用